大一テクノ

コンクリートポンプ車

適用範囲			モデル名		DCP-35SLC
		主仕様	吸吐弁形式	−	スクイズ式
			最大吐出量	㎥/h	35
			最大吐出圧力	Mpa	1.6
			ｱｰﾑ最大地上高	m	14
		適用号機			日野45015～,いすゞ46001～

区分		検査箇所	検査項目(条件)		単位	検査基準値
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数		回/min	
			ローター回転数		回/min	36
			(油圧ポンプ回転数)		(min^{-1})	( )
			(エンジン回転数)		(min^{-1})	(2200 ± 50)
			(作動油温度)		(℃)	(50 ± 5)
		撹拌装置(カクハンソウチ)	回転速度		min^{-1}	42±5
			チェーンのたわみ		mm	15
			(油圧ポンプ回転数)		(min^{-1})	( )
			(エンジン回転数)		(min^{-1})	(2200 ± 50)
			(作動油温度)		(℃)	(50 ± 5)
		真空ポンプ	圧力設定値		Pa	
			(設定値到達時間)		(min)	( )
			圧力降下許容量		Pa	
			(保持時間)		(min)	( )
			Vベルトのたわみ		mm	
	ブーム装置	シリンダー自然降下量	ブーム(1)シリンダー		mm	1.5
			ブーム(2)シリンダー		mm	1.5
			ブーム(3)シリンダー		mm	1.5
			ブーム(4)シリンダー		mm	1.5
			ブーム(5)シリンダー		mm	2
			(測定時間)		(min)	10
			(作動計測条件)			( )
			(作業装置姿勢)		[図面No.]	[図面No.1.2]
		☆ ブームシリンダー作動時間	ブーム(1)	伸び	sec	±
				縮み	sec	±
			ブーム(2)	伸び	sec	±
				縮み	sec	±
			ブーム(3)	伸び	sec	±
				縮み	sec	±
			ブーム(4)	伸び	sec	±
				縮み	sec	±
			ブーム(5)	伸び	sec	±
				縮み	sec	±
			(油圧ポンプ回転数)		(min^{-1})	( )
			(作動油温度)		(℃)	(±)
			(作業装置姿勢)		[図面No.]	[図面No.]
	洗浄装置	水ポンプ(配管洗浄用)	吐出圧力	油圧	Mpa	
				水圧	Mpa	0.125
				飛距離	m	
		空圧機	吐出圧力		MPa	
			(油圧ポンプ回転数)		(min^{-1})	( )
			(エンジン回転数)		(min^{-1})	(±)
			(作動油温度)		(℃)	(±)

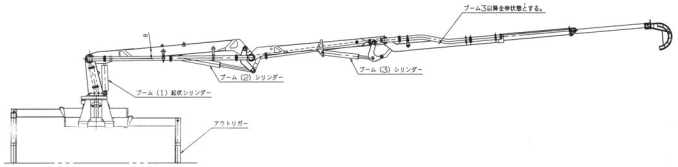
☆印：新車基準値を表す(参考値)

適用範囲			モデル名		
		主仕様	吸吐弁形式	−	
			最大吐出量	㎥/h	
			最大吐出圧力	Mpa	
			ｱｰﾑ最大地上高	m	
		適用号機			

区分		検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値
油圧装置		☆ 油圧機器セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	21
			弁シリンダー油圧	MPa	±
			撹拌モータ油圧	MPa	7
			ブーム油圧	MPa	20
			ACCガス封入圧力	MPa	±
			(油圧ポンプ回転数)	(min^{-1})	( )
			(エンジン回転数)	(min^{-1})	(2200 ± 50)
			(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)
車体・安全装置	旋回装置	☆ 旋回ベアリング取付ボルトの締付	外輪取付けボルトの締め付けトルク	N.・m	363±19.6
			内輪取付ボルトの締め付けトルク	N.・m	510±24.5
			旋回ボルトの交換基準	年	
		☆ 旋回作動速度	旋回速度	sec	±
			(旋回作動角度)	(度)	( )
			(油圧ポンプ回転数)	(min^{-1})	( )
			(エンジン回転数)	(min^{-1})	(±)
			(作動油温度)	(℃)	(±)
	アウトリガー	シリンダー自然伸縮量	各垂直シリンダー	mm	1
			(測定時間)	(min)	10
			(作業装置姿勢)	[図面No.]	( ) [図面No.3]
特記事項					

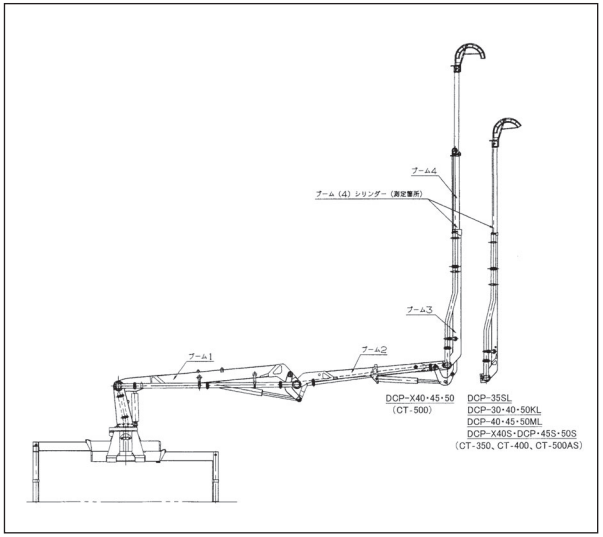
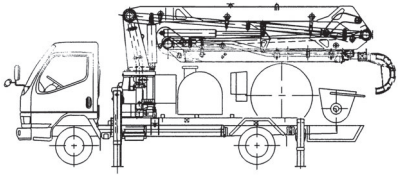
☆印：新車基準値を表す(参考値)

項　目	測　定　方　法	計　測　姿　勢
ブームシリンダー　自然降下	(1)測定条件にセット後エンジンを停止して各操作レバーを操作してアクチエーターの圧抜きを行う。 (2)圧抜きから10分経過後、測定を開始する。指定測定条件にて10分間保持する。 (3)シリンダーロッド縮み量を測定する（ブームシリンダー(4)はブーム縮み量を測定） 注意：シリンダーロッド（ブーム）にマーカーで目印をつけて、寸法を測定する。この際シリンダーロッドを傷つけないように、十分に注意すること。	**図－1　ブームシリンダー(1)～(3)の測定条件** (1)ブームは全伸長とする。 (2)起伏角度が 2°～5°とする。 (3)ブーム方向は車輪後方とする。 (4)油温は 50°±5 とする。



図－2　ブームシリンダー(4)の測定条件

(1)ブーム 4 は全伸長とする。
(2)ブーム 3 角度を垂直にする。
(3)ブーム方向は車輪後方とする。
(4)油温は 50°±5 とする。



項　目	測　定　方　法	計　測　姿　勢
アウトリガ-シリンダ-　自然降下	(1)測定条件にセット後エンジンを停止して各操作レバーを操作してアクチエーターの圧抜きを行う。 (2)圧抜きから5分経過後、測定を開始する。指定測定条件にて10分間保持する。 (3)ジャッキシリンダー（縦箱）の縮小量を測定する。 注意：シリンダーロッド（縦箱）にマーカーで目印をつけて、寸法を測定する。この際シリンダーロッドを傷つけないように、十分に注意すること。	**図－3　アウトリガーシリンダーの測定条件** (1)ブームは走行姿勢とする。 (2)各アウトリガーを最大に張り出す。 (3)作動油温度は 50°±5°とする。